

丹沢たかし活動報告

市川三郷町市川大門1227 TEL/FAX 055-272-0413 丹沢たかし後援会



ごあいさつ

風薫る初夏の訪れを感じる季節となりました。

今年は、山梨では大雪の災害もなく穏やかな冬を過ごすことができました。

国内だけでなく世界各地で、様々な災害が起こり、突然普段の生活環境が壊される出来事が多く発生しています。その中で、この地域では、大きな災害に見舞われることなく過ごせている幸せを感じざるを得ません。

とはいえ、明日にでも来るかもしれない地震対策などの備えとして、「災害に強い町づくり」への継続的な取り組みは欠かせません。

さて、昨年10月より市川三郷町議会議員としての活動を開始し、7か月が経過いたしました。これまでの皆様方のご支援に改めて感謝いたします。

この間、議会関連では、定例議会、臨時会、委員会、全員協議会等が開催され、主に予算関連、条例の改正・制定等の議題に対し、審議・質疑・議決を行いました。

議員の役割としての「議決」することの重みを自覚しながら、今後も取り組む決意を新たにしております。

また、議員研修会・市川高校100周年事業・消防団出初式・町成人式（新成人出席者176名）・市川小学校卒業式（卒業生69名）などの諸会議や行事等に出席致しました。

安倍内閣の重要施策として「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、全国の自治体を巻き込み、包括的な人口減対策と地方活性化策に乗り出しました。

今回は特に、「地方版総合戦略」策定においては、地方自らが考え、住民参加の中で知恵を出し合うことを求めています。

これからも、「歴史と文化と伝統の町」の魅力の発信をより強化する取り組みに向けて、より多くの方が「元気がある町だ」と実感できる町となる様、皆様の知恵を借りながら、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

皆様のご指導をお願い申し上げます。

■所属委員会

●「総務教育常任委員会」

・本会議に提出された議案の内、企画課、総務課、財政課等の所管する事務の議案等について審査します。（所属外の委員会についても出席しています）

●「議会広報編集特別委員会」

・6名の議員で構成され、議会運営状況報告をメインとしての「議会だより」を年4回発行。毎号複数回の編集会議を開催し、原稿作成・編集・校正を行い、より判りやすい紙面作りに努めています。

●「議会改革特別委員会」

・全議員で構成。市川三郷町議会では、議会活動の基本事項を定めた「議会基本条例」を平成25年に制定済み（県下27市町村のうち6市町村が制定）

■定例議会は年4回（3月・6月・9月・12月）開催されます。（概ね2週間の会期で開かれます）
この他に、必要により、臨時会が開かれます。

平成27年 3 月定例議会報告

■会 期 ; 3月6日(金)~18日(水)

■主な議案等(60議案)

●平成26年度一般会計補正予算関連 補正後 90億9,125万円

●平成27年度当初予算関連

・一般会計 84億7,360万円 (前年比 3.96%減)

・特別会計 61億4,852万円

・総 額 146億2,212万円

●条例改正9件、制定6件、廃止1件 等



■主なテーマ等

1. 地方創生事業

国は「地方創生」に向けて、各自治体での具体的施策の決定を求めている。町では交付金を活用して以下の事業を行う。

① 地域消費喚起・生活支援型事業 (国交付金 3,474 万円、県交付金 749 万円)

●プレミアム付き(30%)商品券発行・・・6,500円分を5,000円で2万セット販売

●子育て支援商品券(5000円分)発行・・・18歳以下の子育て世帯1,254世帯に配布

② 地方創生先行型事業 (国交付金 3,435 万円)

●市川三郷町総合戦略策定事業・・・町民参加による27年度から5年間の総合戦略策定

●人口対策事業(若者定住促進)・・・町内への移住者に対する最大100万円助成制度 等

2. 介護保険条例改正

・3年ごとの介護保険料率を見直し時期にあたることから、保険料を改定する。

【第6期 平成27年度~29年度を対象】

・市川三郷町基準(月額)保険料を、4,850円から5,630円

・3年間の「介護保険給付費準備基金」取り崩し額3,600万円(取崩後基金残高 781,541円)。

3. 景観条例制定

・町域を大きく3つの「景観形成地域」に区分し、地域ごとの特性に応じた建築や開発行為等を行う際の守るべき事項(行為の届出と景観形成基準の遵守)を定めた。(施行日は本年7月1日)

●田園居住景観形成地域 ●山麓・山間景観形成地域 ●森林景観形成地域

※例えば、「建築物で高さ13m又は床面積の合計が250㎡を超えるもの」は届け出対象行為とする。

4. 教育委員会制度改革

・4月より教育委員会制度見直し。責任の明確化を目的として、教育長と教育委員長を一本化する。

・現教育長の任期中は、暫定措置として現行制度を適用できる。

・市川三郷町では、平成29年1月29日まで暫定措置を適用する。

・町長と教育委員で構成する「総合教育会議」は4月より設置する

一般質問

3月議会で以下の一般質問を行いました。

※詳細は市川三郷町ホームページ「議会会議録」に掲載されます。

1. 「市川三郷町第2次総合計画」の策定に関する取組みについて

質問概要

現在の「市川三郷町第1次総合計画」は、平成19年4月1日から平成29年3月31日までの10年間を対象として平成19年3月に策定された。

第2次総合計画策定に向けては、平成27年度での着手が必要であり、①第1次計画の評価に基づき、策定手順や体系を確立する ②「地方創生」事業に関する「地方版総合計画」策定との関連を整理する ③第1次計画では中間見直しを行っていないが、見直し手続きを明確する 等に関する前提整理が求められる。

どのような方針・スケジュールですすめるのか。

町長

毎年度の事業実施計画策定時には、総合計画の大綱に基づき方針決定している。

第2次総合計画策定に向けて、アンケート調査・資料収集等実施に関する予算を平成27年度に計上した。28年度では、部会等を立ち上げ、過去の評価に基づき項目別に具体化を図ることとする。

「地方版総合戦略」の5か年計画は27年度内に策定することから、第2次総合計画に織り込み10年計画を策定していく。

特に人口増加策として、子どもを産み、育てやすい環境への配慮を重視していく。

2. 市川三郷町合併10周年記念事業について

質問概要

平成17年10月1日の3町合併から今年10月に合併10周年を迎える。合併10年間を振り返り、新たなスタートとして更なる一体感を高める機会とする、各種記念事業の予定はどうか。



町長

「神明の花火」についても合併10周年の冠をつけて実施する。年間を通じて合併10周年という節目をPRしていく。

イベントとしては、西伊豆町との姉妹町締結事業、NHK のど自慢大会（9月27日（日））、故市川團十郎丈ご遺族による記念イベント（10月3日（土））を3つの柱として進めていく。

3. 「市川三郷町出身者の会」の設立について

質問概要

「ふるさととのつながりを持ち続けること」、「同郷の人々との交流の機会となること」、「ふるさととの発展に貢献すること」を掲げ、多くの自治体の県人会が活動している。

市川三郷町出身者の会をまずは首都圏で設立したらどうか。このことは「交流人口の増加」にも結びつくものと考える。

町長

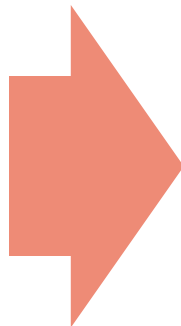
地方創生を進めるためには、多くの力を結集して英知を絞って対策を考えていくことが必要である。町の活性化に向け、組織立ち上げに向けての糸口の検討を進める。

市川高校に関する統合問題について

「市川三郷町高校再編整備検討委員会」（会長：久保町長）での取組みについて、以下の説明を受けました。

《県の峡南地域における 高校再編の基本的考え方》

1. 峡南地域北部地域に1校、南部の地域に1校を配置する。
2. 学科については、峡南地域4校における現在の学科の状況を勘案し、学校関係者及び地域の意見を踏まえて設置する。



《「市川三郷町高校再編整備 検討委員会」での活動方針》

以下2項目を中心に山梨県教育委員会に提言していく

1. 市川高校の教育方針を引き継ぐ普通科と英語科と、専門学科からなる総合性高校の設置を求める。
2. 設置場所は生徒の通学の利便性と安全性を考え、市川高校の現在地に求める。

西伊豆町との姉妹町提携式

4月25日、ぼたんの花祭り会場において、静岡県賀茂郡西伊豆町との姉妹町締結式がありました。「災害時における相互応援に関する協定」の締結も同時に行いました。

市川三郷町民が西伊豆町の宿泊施設利用時には、年度あたり小学生以上ひとり1回2,000円の助成制度があります。27年度の助成予算枠は20万円となっています。



NPO法人「是空」主催によるコンサートが、3月14日に三珠歌舞伎公園ふるさと会館で行われ、豊かな時間を過ごしました。

- ・オカリナ（弓場さつきさん）演奏
- ・朗読（古屋詔子さん）
- ・南米音楽フォルクローレ（チェスカ）

*NPO法人「是空」（今村均代表）

今年1月、芸術・文化活動をテーマとした活動を行うことを目的として主に町内有志で設立された。



宛先などに誤りがございましたら、なにとぞご容赦ください。
なお、お知らせいただければ幸いに存じます。